25年度 三重大学の　環境方針（4）→環境目的（4分類8項目）→環境目標（11）→具体的取り組み（40）

方針(4分類)

環境方針	目的（4分類(8項目)）	目標（11項目）	具体的な取組(40項目)	実施主体
教育	1 環境マインドの育成	1「実践・現場重視型の環境教育」の充実	1「持続発展教育プログラム」の関連講義の履修者へのプログラムチャレンジへの広報。	環境教育部門
			2 スマートキャンパスしての実践型環境教育の実施。	環境教育部門
			3 実践型環境教育として、MIEUポイントの取組を学生に広報する。	環境教育部門／環境ISO学生委員会
			4 実践型環境教育の実施成果を、環境研究にフィードバックする。	環境教育部門
		2 学際的環境教育システムの構築と運用	5 アジア・太平洋大学環境教育コンソーシアムの環境教育の実施。	環境教育部門／環境管理推進センター（ユネスコスクール関連）
			6 子ども及びユースを主体とするユネスコスクール活動に、環境マインドを持った学生が参画する環境教育事業を開催する。	環境教育部門／環境管理推進センター（ユネスコスクール関連）
	2 環境教育カリキュラムの支援	3 学内外の環境教育プロジェクトへの支援と連携	7 町屋海岸再生プロジェクトとして、環境ISO学生委員会が主体になる生物多様性関連の教育プログラムを行う。	環境教育部門/環境ISO学生委員会
			8 環境インターンシップの学生に履修案内。	環境教育部門
			9 国際環境インターンシップの実施。	環境教育部門／環境管理推進センター（ユネスコスクール関連）
			10 学生主導の地域連携型環境教育の実施をする。	環境ISO学生委員会
研究 2　地域の企業・行政・研究機関との協働による環境科学技術研究を重点的に推進する。大学キャンパスや施設を活用し、地球温暖化防止、自然共生、資源・エネルギー利用等の革新技術の実現化立証に供する。	3 大学キャンパスや施設を活用した、地球温暖化防止、自然共生等の革新技術の実現化	4 スマートキャンパス構想のため新規導入する（また、導入した）施設・設備を本格稼働する。	11 キャンパスに再生可能エネルギーの設備を導入する。	施設部／スマートキャンパス部門
			12 キャンパスに導入した再生可能エネルギーとガスコージェネレーションの運用によるCO2排出量削減効果を検証する。	施設部／スマートキャンパス部門
			13 スマートキャンパス実証事業の成果を含めた取組を公表する。	施設部／スマートキャンパス部門
		5 スマートキャンパス構想に関連した、学生および教職員が行う環境活動のリサーチ。	14 MIEUポイントを対象とした環境活動の整理・拡充。	環境ISO推進部門
			15 MIEUポイント実施成果を調査分析する。	環境ISO推進部門
			16 MIEUポイント調査分析結果から活動インセンティブとなる表彰制度を構築する。	環境ISO推進部門
			17 MIEUポイントを対象にした「省エネアイデア募集」を拡充し「環境活動アイデア募集」の実施をする。	環境ISO推進部門
			18 MIEUポイントの企業連携。	環境ISO推進部門
			19 スマートキャンパスの研究成果を学外に公表する。	環境ISO推進部門／情報／環境管理推進センター
社会貢献 3　自然環境を生かした美しい大学として施設を創設・整備して市民に開放しつつ、地域社会で活動する各種環境団体・市民団体・企業・行政等との協力関係を結んで地域との協働の場として活用し、情報発信の拠点とする。	4 三重大学独自の環境主軸のUSR規範の検討と確立	6 USRの考えをもとに環境イノベーション（社会的意義のある新たな価値を創造）を検討し環境報告書に作成して活用する。	20 三重大学環境報告書に、環境主軸の教育・研究の実施内容など地域社会への貢献活動を調査し、記載する。	環境報告書部門／環境管理推進センター
			21「世界一の環境先進大学」実現のため、三重大学環境活動を広く周知できるように環境報告書を作成し公表する。	環境報告書部門／環境管理推進センター
	5 キャンパス及びその周辺地域社会と学生とのコミュニケーション力強化	7 地域社会と連携し、学生のコミュニケーション力を養う交流の機会をつくる。	22 環境・情報科学館を、教職員や学生、地域社会へ、プラットフォームとして提供する。	環境ISO推進部門／環境管理推進センター
			23 地域社会と連携した環境教育シンポジウムの開催	環境管理推進センター
			24 ノーマイカーデーの実施。	全部局
			25 多様な主体による交流イベントに参加し、三重大学の環境教育・環境研究の成果及び環境活動を公知する。	環境ISO推進部門／環境管理推進センター
			26 三重大学モデルの環境マネジメント活動成果を、他機関に公表し、環境経営を普及する。	環境ISO推進部門／環境管理推進センター
			27 環境ISO学生委員会が主体になり、町屋海岸再生プロジェクトを行う。	環境ISO推進部門／環境ISO学生委員会
業務 4　全学が、ISO14001規格に準拠した環境マネジメントシステムを運用することにより、大学自らが資源の利活用やエネルギー消費低減に努め、低炭素社会・循環型社会の実現に向けて努力する。	6 2020年までにCO2排出量を1990年比で30%削減	8 2015年までにCO2排出量を1990年比で15%削減（エネルギー使用実態の調査・評価・運用改善・設備改善）	28 エネルギー削減の「三重大学上浜団地地球温暖化対策計画書」達成のために、四半期毎に各部局等に達成状況を周知し確認する。	施設部／スマートキャンパス部門
			29 各部局は、エネルギー使用量の削減の運用改善のテーマを定め実行する。	全部局
			30 環境管理推進センターは、各部局の運用改善テーマをまとめ、センター会議で報告または議論し、学内全体の省エネ運用改善を定着させる。	環境管理推進センター
			31 エネルギー使用量を環境管理推進センターのセンター会議で報告する。	施設部／環境管理推進センター／環境ISO推進部門
			32 緑のカーテン・屋上緑化事業に取り組む。	施設部／環境管理推進センター／環境ISO推進部門
			33 運用改善による、エネルギー削減行動に対する評価をして、MIEUポイント制度の利用をする。	環境ISO推進部門
		9 エネルギー使用設備の合理化の検討	34 設備・機器等の更新時期を考慮し、施設のエネルギー合理化の提案をし、導入の有効性・実現性を検討する。	施設部／スマートキャンパス部門
			35 省エネルギー性能の高い設備・建築材料などの情報を発注の度調査し、入札要件に反映させる。	施設部／スマートキャンパス部門
			36 使用電力量を調査し、設備運用改善の見直しを複数年をかけ検討する。	施設部／スマートキャンパス部門
	7 紙使用量の削減	10 紙の適正使用方法の継続と不要（ミス）コピーの削減	37 年間紙の購入量を記録し管理する。前年度比で増加している場合はユニット内で注意喚起を行う。使用するプリンター・印刷機によっては両面印刷することで紙詰まりや故障の原因となる場合を想定し、機器ごとの適正使用に心掛ける。	全部局　環境ISO推進部門
	8 廃棄物排出量の削減	11 廃棄物排出時の資源分別手順の確立と学内周知	38 室内の資源ごみの分別状況を確認し、記録し、結果を関係者に周知する。	全部局　環境ISO推進部門／環境管理推進センター
			39 三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル）の利活用を啓発・実施する。	全部局　環境ISO推進部門／環境管理推進センター
			40 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知し、実行する。	全部局　環境ISO推進部門／環境管理推進センター